

平成 29 年度沖縄県若年性認知症専門職研修会 名護市開催 報告書

1 研修会名：「平成 29 年度沖縄県若年性認知症専門職研修会」

2 研修会日程及び場所

2018年2月2日（金）14時～17時（受付13時半 開始）

会場 名護中央公民館 小ホール 定員87名

3 目的：広く若年性認知症について啓発を行うと同時に専門職へ研修を行うことで、若年性認知症の一人ひとりがその状態に応じた適切な支援を受けられることを目的とする。

4 プログラム

	開始 時間	終了 時間	内 容	所要時 間	講 師
	14:00	14:05	オリエンテーション	5 分	中野（事業担当）
1	14:10	15:10	疾患の理解	60 分	宮里病院 川崎俊彦医師
	15:10	15:20	休憩	10 分	
2	15:20	16:00	当事者の気持ち（大府センター配布DVD）	40 分	若年性認知症支援コーディネーター中野
3	16:00	16:50	若年性認知症の県内の支援状況	50 分	
	16:50	17:00	まとめ アンケート記入等	10 分	
	17:00		終了		

5. 広報 : チラシ郵送 5/15 570 件

県高齢福祉課より北部県域へ F A Xにて追加広報 11/22

申し込み締め切り 1/25（木）

申し込み者 121 名

6. 当日の様子 当日参加者数 68名

内訳 医療 10名

介護保険事業所 55名

包括 3名

7. 講義内容

疾患の理解 講師 川崎俊彦 氏 宮里病院院長代理

ハンドブック P3～P6 に沿って、更に詳細に症状、治療、ケアに渡り幅広くご教示頂いた。後半では若年性認知症のかたの支援についてケースを提示頂いた。（配付資料なし）

当事者の気持ち（DVD学習）

認知症介護研究・研修大府センター作成の若年性認知症支援コーディネーター用研修DVD「若年性認知症の人と伴に歩む」を使用した。暮らしと①、暮らしと②、ご本人ご家族の居場所、パートナーとはの4つのテーマを視聴した。

若年性認知症の県内の事情 沖縄県若年性認知症支援コーディネーター中野小織

平成29年4月3日より12月30日までの相談件数などのデータをもとに、現状を報告。相談内容のほとんどは「利用出来るサービスについて」であり、若年性認知症のかたの行き場のない現状について情報を共有頂いた。経済的支援の例を紹介し、求められた支援者の役割について情報提供とした。先に視聴した当事者の気持ちDVDから、県内でも出来る事についてご検討頂いた。

8. 研修資料について

テキストは『本人・家族のための若年性認知症支援ハンドブック（沖縄県）』

県内支援の例について一部配布

参加費は無料。

9. アンケート結果 回答 58名 回収率 85.3%

問 本日の内容について感想を教えてください

	よかった	ふつう	よくなかった	無記入（部分的）
疾患の理解	87.9%	10.3%	1.7%	0%
当事者の気持ち	93.1%	3.4%	0%	3.4%
県内事情	84.5%	8.6%	0%	6.9%

問 沖縄県の若年認知症の方々の支援が充実するために、今後、沖縄県若年性認知症支援推進事業で、どのような企画があると良いと思われますか

- ・当事者の話を聞きたいと思いました
- ・就労、生活面での支援援助
- ・今後も若年性認知症の事を知ることのできる研修をピンポイントで開催してほしい
- ・受入れてくれる事業所等の紹介と話を聞きたいと思います
- ・当事者と家族会の存在と広報活動
- ・認知症推進事業がまだ世間に浸透されていないので、地域での講演会や相談会などをもっとやっていったら良いと思います
- ・認知症のかたの得意不得意が改善されるマークや、ドアの鍵を開けやすくする未印など実際にされているアイデアを紹介して頂きたいです
- ・ボランティアの募集などをもっと告知してほしい。障がい福祉の制度とわかりやすく学べる機会を持って欲しい
- ・今やっていることを継続してほしい

・精神科受診を拒否、抵抗感が強い方を強制的ではない感じで受診させるにはを、具体的に考えて欲しい。

- ・制度の手続きの仕方をもう少し教えて欲しい
- ・今回のようなコーディネーターから県の事情を知る場が増えるといい
- ・実際に若年性認知症のかたと語る会に参加したい
- ・このような研修会を数多く地域の方へも発信できる機会が増えればとても良いと思う
- ・各包括支援センターを中心に地域の方へ講演会などを実施してほしい
- ・DVDのような当事者のかたの集いの場があると良いと思った。態勢作りのために地域に研修や広報活動をすることが大切だとおもった。
- ・当事者の気持ちのDVD配布や県内の支援状況をアピールできる場所をつくる
- ・雇用・日常生活等の支援
- ・パートナーの研修会、勉強会
- ・ピアサポーターの研修会、勉強会
- ・今回のようなDVDを用いて、周囲の人への理解が得られる研修会の開催
- ・事例検討会（事例を絞り、内容をより具体的に詳細まで取り上げてはどうか）
- ・管理職のための認知症理解の研修
- ・中小企業、大企業、学校、一般での開催など情報を開示し、啓蒙する活動が必要だと思う
- ・当事者の思い、その家族の思いなど就労されていればその職場の方の意見など聞かせてほしい。

その他感想：

- ・とてもわかりやすく興味深く学ぶ事ができました
- ・疾患についての説明がわかりやすく、当事者の発表が何より直接きけたのはよかったです
- ・老人介護の仕事ですが若年性認知症と全く別世界の話を知って、もっと理解できたらと思いました
- ・北部の若年性認知症の支援取組み、支援の場の作り方を知りたかった
- ・コーディネーターの役割を色々わかってよかった
- ・DVDはとても良い刺激になった
- ・県内の事情はもっと広めていくべき。自分たちが出来る事はなんかあるだろう
- ・北部は悩むことが多い
- ・コーディネーターの報告にわからないことも多く有りビックリしました。
- ・当事者DVDが良かった。北部は医療に関しても不十分さを感じます。一人一人の認識も低いことと情報としても少ないと思う。ガイドラインをもっと大々的に表現していくことも重要かと思います。
- ・沖縄県の当事者DVDもあればよかった
- ・早期介入で就労支援に繋がれたらと、とても思いました
- ・介護保険はどうしても高齢者が多く集まるが2号保険者のかたが利用しづらい環境になっている。2号保険者や若年性認知症の方が集まれる場所が必要だと思う。

10. 主催者側の所感

平成 29 年度の若年性認知症専門職研修会では、「当事者の気持ち」で若年性認知症研修用DVDを使用し、その後に県内の事情報告とした。アンケートでは具体的な支援方法について求められているなど、次年度の研修会のあり方に向けた検討課題を多く頂いた。

以上